



自治医科大学 精神医学教室

Department of Psychiatry Jichi Medical University

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

TEL: 0285-58-7364 FAX: 0285-44-6198 E-Mail: psychiat@jichi.ac.jp

Offenem Geist

自治医科大学精神医学教室のモットーとしている言葉で、初代の故宮本忠雄教授より受け継いだものです。ハイデルベルク大学の講堂入口に掲げられている文字で、学問が「開かれた精神」に差し向けられているものであることを告げています。教室の特徴は、精神病理学、芸術療法（絵画療法、コラージュ療法、音楽療法）、集団精神療法、比較文化精神医学、病跡学から、分子精神医学、精神薬理学、精神生理学などの生物学的研究にまで広がる極めて幅広い研究領域を持っていることにあります。

私達は“Offenem Geist”の基本理念を軸に、患者さんを師として学びつつ、教室員各自の個性と感性を自由に伸ばし、精神医療の新たな展開を目指して頑張っていきたいと考えています。志を同じくする多くの皆様の教室への参加を心よりお待ちしております。

スタッフ

教授	須田史朗（科長）、小林聡幸、阿部隆明（子どもの心の診療科）、大塚公一郎（看護学部）、岡島美朗（大宮医療センター）
准教授	塩田勝利（医局長）
講師	齋藤慎之介
助教	安田学、倉田和美、齋藤暢是、西依康、佐藤伸秋、福田和仁、加藤梨佳、岡田剛史、牧口暁子（子どもの心の診療科）

医員 6 名、大学院生 3 名、臨床心理士 4 名、精神保健福祉士 4 名

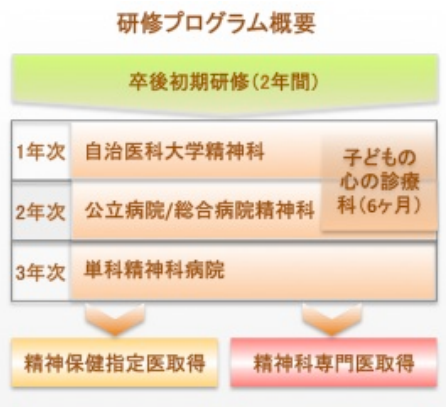


研修プログラムの概要

自治医科大学附属病院は 41 床の精神科病床と 15 床の児童精神科病床を有しています。病床は開放病棟（児童精神科は閉鎖）で、気分障害圏を中心に栃

木県内や近隣の医療機関から合併症症例、治療抵抗例を幅広く受け入れています。近年では、超低体重を伴う重症摂食障害や発達障害合併例が増加しています。また認知症疾患医療センターを併設しています。

プログラムの一年目は自治医科大学附属病院での研修となりますが、二年目以降は連携施設での研修に進みます。総合病院精神科、公的精神科病院、単科精神科病院との連携を行っており、それぞれの施設は特色（精神科救急、依存症、医療観察法、訪問診療、児童思精神医学、老年精神医学、精神病理学、芸術療法）が際立っていますので、将来的な専攻領域の希望により選択が可能です。また、大学院博士過程への進学についても随時受け入れを行っています。



研修プログラムの特徴

自治医科大学附属病院の外来患者数は全国大学病院の中でもトップクラスにあり、common disease から専門的疾患、希少疾患に至るまでの幅広い症例の経験が可能です。全体的な方針としては、早期介入による早期回復を目指した治療を心がけており、専攻医は画像診断（MRI、SPECT、光トポグラフィー）、生物学的検査、心理検査、詳細な病歴聴取に基づいたアセスメント、薬物療法（クロザピンを含む）、各種精神療法、電気けいれん療法、経頭蓋磁気刺激療法（rTMS）などを組み合わせた最新・最善の治療を学ぶ事ができます。

精神科では治療と同時にリハビリテーションや環境調整を開始することが重要です。治療方法や介入手段を選択する際に、行き過ぎたパターンリズムは問題となりますが、判断に迷う時に私達は少し「おせっかい」な選択肢を選ぶようにしています。

自治医科大学は女性医師の支援体制が充実しており、産休・育休制度を随時利用することができます。育休制度は男性医師も利用可能です。院内にはセブンイレブン、スターバックスコーヒー、書店、旅行代理店があります。

医局のアメニティは充実しており、医局内に当直明けの医師のための休憩室が整備されています。本年度はデロンギ製全自動エスプレッソマシンを導入しました。医局には多様性を歓迎する伝統があり、様々な才能を持つ医局員がそれぞれ幅広く活躍しています。是非一度見学にいらして下さい。おいしいコーヒーを準備してお待ちしています。

応募お問い合わせ

連絡先：塩田勝利（医局長）

TEL: 0285-58-7364 FAX: 0285-44-6198 E-Mail: psychiat@jichi.ac.jp

